

事故 管理No.	事故発生日	曜日	発生時間	事故区分	地区名	営業所名	氏 名	職種	年齢	勤続	損害程度(品目・負傷状況) (損害額)	休業見込 (実休業)	荷主・相手方		事 故 内 容
													名称	本・支店、工場	

1	J8100304	2025/11/8	土	14:00	作業(対物)	中四国	岡山	自社作業者	作業	24	2年10ヶ月	貨物用エレベーター ソフィットパネル変形 100万円	-	-		貨物用エレベーターで貨物(ネステナー2段)をハイマストのリーチフォークリフトを使い積送しようとした際、フォークリフトの後部がエレベーターに入りきらなかったため爪をネステナーと商品の隙間に入れようとエレベーター内で爪を130cmくらいまで上げようとした。その時、マストがエレベーター天井部パネルに接触し変形破損した。
	確認日	2025/11/21	金	確認者 (安全)		発生要因	■ 新規作業や非定常作業時のリスクアセスメントが行われていなかったため作業時の注意点が明確でなくフォークリフト作業計画書も未作成であり周知もできていなかった。 ■ 作業前KYが行われておらず作業時の危険予知を認識させられなかった。 ■ エレベーター内で爪の上昇操作を行ってはいけないことを周知させられなかった。					再発防止対策	■ 新規作業開始及び非定常作業前には作業者を交えたリスクアセスメントを行い、リスク洗い出しと対策、作業手順を明確に行うとともに作業者全員に周知を行った。 ■ 朝礼など作業前KYを必ず行い作業時の注意事項を周知させた。 ■ エレベーター内でのフォークリフト作業について規制を行い作業者全員に周知を行った。 ■ 管理者は周知した作業内容が遵守できているかを確認、指導を行った。			

2	J8100313	2025/11/14	金	08:00	労災	関東	浦安BCⅢ	派遣会社作業者	作業	55	3年7ヶ月	左足付け根骨折	60	-		派遣作業員が、倉庫出入口にて倉庫内から外に出ようとした際、出入口の高さ(段差)が地震の地盤沈下により約35cmもあり、目測を誤って足を踏み外し転倒、負傷した。
	確認日	2025/11/27	木	確認者 (安全)		発生要因	■ 普段より使用している出入口だが、段差につまづくといったヒヤリハットもなく、施設利用のリスクアセスメントもできていなかった。 ■ 段差を小さくする応急処置もなされていなかった。					再発防止対策	■ 他の施設(浦安BCⅠ・Ⅱ)に同様な段差箇所を調査したが当該施設のみであることと判明した。 ■ 通用口に「段差あり」の表示を行うとともに、階段設置までの間使用禁止とした。 ■ 今後、恒久対策(階段設置など)は持ち主に対応してもらうこととした。			